
第18回 日本水大賞
2016 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第18回日本水大賞」におきまして、筑後川流域連携倶楽部の皆さまが大賞を受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

筑後川流域連携倶楽部の皆さまは、筑後川流域内の市町村を舞台とした「筑後川フェスティバル」の開催や、流域内のさまざまな情報を発信する「筑後川新聞」の発行など、流域の県や市町村境を超えた連携を深める活動にご尽力されてこられました。今回の受賞は、このような活動を長年にわたり進められてきたことが高く評価されたものと考えます。

また、流域をテーマパークに見立て、地域ごとの魅力をアピールする「筑後川まるごとリバーパーク」、川の交流施設としての「川の駅」ネットワークづくりなどの活動では、市民レベルの交流、さらには地域の活性化にもつながっており、その熱心な活動に対し深く敬意を表します。

福岡県においても、県内のさまざまな地域で活動されている方々の交流を図るため「ふくおか水もり自慢!」を開催するなど、川や水に関わる方々の連携を深め、活動を活発にしていこうとしている中、皆さま方が大賞を受賞されましたことは、大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を契機に、皆さまの活動が今後ますます発展し更に飛躍されますことを祈念いたします。

平成28年6月21日
福岡県知事 小川 洋

祝 辞

第18回日本水大賞「国土交通大臣賞」を受賞されました「特定非営利活動法人パートナーシップオフィス」の皆さまに心からお祝いを申し上げます。

この度の受賞は、第7回日本水大賞奨励賞受賞の榮譽に続くものであり、長年にわたり海岸漂着物問題に取り組んでこられたことに敬意を表します。

皆様は、「水辺の散乱ゴミの指標化」の評価手法を開発され、山形発の調査型クリーンアップ活動が全国で広く展開されるようになり、我が国のみならず海外での海岸漂着物問題への取組みにも大きな影響を与えたことが高く評価されたものと考えております。

本県では、平成22年度に「山形県海岸漂着物対策推進地域計画」を策定し、海岸漂着物の削減に取り組んでおりますが、海岸漂着物問題の解決には、県域を越えて官民が連携して取り組むことが重要であり、皆様の活動には大いに期待するところであります。

今回の受賞を契機として、皆様の活動がますます発展し、活動の輪がさらに広がりますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます

平成28年6月21日
山形県知事 吉村 美栄子

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

このたび、「特定非営利活動法人グラウンドワーク三島」の皆様が第18回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞されましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

皆様は、富士山の湧水に恵まれた「水の都・三島」を再生すべく、平成4年から23年間にわたりグラウンドワーク活動を続けられ、昭和30年代半ばに環境が悪化した源兵衛川を、中心市街地にありながらミシマバイカモ等の希少生物が棲み、子供たちや市民が水と触れあい、観光客が訪れる魅力あふれる水辺として再生させるという大きな成果を挙げられました。

その活動は源兵衛川にとどまらず、湧水池と水田が点在する境川・清住緑地の整備、狩野川の原因風景が残る松毛川の河畔林再生など、水と緑のネットワークの形成を目指し、さらに広がっています。

また、水辺づくりを担う次世代を見据えた人材育成や地域住民との協働の取組などにも尽力されています。

“ふじのくに”静岡県は、富士山の湧き水や溪谷のせせらぎ、東海道のオアシス浜名湖など、美しい水の恵みがあふれています。清らかで豊かな水資源・環境の保全と活用による「水の都」づくりを推進する本県にとって、皆様の先駆的・継続的な活動が全国の模範として高く評価されたことは、大変喜ばしいことであります。

今回の受賞を機に、皆様の御活動がますます発展されることを祈念して、お祝いの言葉とします。

平成28年6月21日
静岡県知事 川勝 平太

祝 辞

第18回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞された「NPO法人水道千葉」の皆様、「市民活動賞」を受賞された「特定非営利活動法人せっけんの街」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

「NPO法人水道千葉」の皆様は、水道事業体の退職後においても長年培った知識・技術・経験を生かし、水道技術の継承や水源水質保全活動、水道利用者の支援など、水道支援活動に取り組んでこられたことが高く評価されたものと伺っております。

また、「特定非営利活動法人せっけんの街」の皆様は、水環境改善のため、市民自ら廃食油からリサイクルせっけんを製造するなど、環境保全活動を長年続けてきたことが高く評価されたものと伺っております。

千葉県は水資源に恵まれず、これまで先人達の知恵と工夫によって水を確保してきました。また、印旛沼や手賀沼などにおいて、地域の方々と協働した流域の水循環健全化に取り組んでいるところであり、受賞された皆様の活動に心から敬意を表します。

今回の受賞を契機に、皆様方の活動がますます発展されることを祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
千葉県知事 森田 健作

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第18回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

「東京農業大学」は、山梨県小菅村と協力し、村全体をフィールドとして学生が源流域の自然や文化について学ぶことのできる人材育成の取組みを続けてこられました。「株式会社 トヨタマーケティングジャパン」は、全国の活動団体と連携して、河川や海岸の清掃、植樹、稲刈りといった水環境を守る活動を累計400回以上開催してこられました。「清水建設株式会社」は、原油とともに汲み上げられる地下水を処理して灌漑用水として利用可能にする技術を開発し、産油国における廃棄物の削減と新たな水資源の創出に寄与する成果を挙げられました。「特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会」は、琵琶湖における外来水生植物の大繁殖を解決するため、地元住民や行政と連携しながら継続的な除去活動を続けてこられました。

このような皆様の着実な活動が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。

現在、都では「東京都長期ビジョン」のもと、「世界一の都市・東京」の実現に向けた様々な取組みを進めています。その政策指針の中で、「水と緑に囲まれ、環境と調和した都市の実現」を掲げており、東京にふさわしい水循環の姿を回復し、水の都の魅力を一層向上させるため、都民に身近な水辺の整備や水質改善に取り組んでいます。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、水資源や水環境の保全・再生に向けて、益々ご発展ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
東京都知事 舛添 要一

祝 辞

第18回日本水大賞において文部科学大臣賞を受賞されました「福島成蹊高等学校自然科学部」の皆様、心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞は、未曾有の原子力災害により甚大な被害を受けた故郷の復興をめざす皆様の熱い想いと微小生物による環境調査という斬新な視点による着実な調査研究の成果が高く評価されたものであり、心より深く敬意を表するものであります。

本県の環境回復はいまだ道半ばではありますが、次代を担う皆様が困難に負けず、美しい故郷を取り戻そうとする姿勢は大変心強く、この成果が必ずや県土復興の力となることと確信しております。

福島県といたしましても、復興を一層加速し、安心して暮らせる環境を取り戻すため引き続き総力を挙げて取り組んでまいります。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
福島県知事 内堀 雅雄

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

青森県立木造高等学校深浦校舎、深浦町、白神の生き物を観察する会の皆さん、第18回日本水大賞「未来開拓賞」の受賞、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、白神山地の麓で発生する流倒木を回収して木材チップに加工し、地元の中学生や観光ガイドと協力して観光地の遊歩道などに敷設した活動が、環境保全と防災、観光の連携に役立つものとして、高く評価されたと伺っています。

青森県では、豊かな自然を守り、その恵みを将来に渡って享受する自然共生社会づくりを進めており、特に世界自然遺産白神山地については、人と自然の共生の象徴として、その価値を国内外に発信しているところです。

このような中、本県が世界に誇る白神山地の麓で自然と共生する活動を実践している皆さんがこうした栄えある賞を受賞されたことは、大変意義深く喜ばしい限りです。

今回の受賞を契機に、皆さんの活動が大きな輪となり、末永く継続されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
青森県知事 三村 申吾

祝 辞

第18回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞された「名古屋市立名古屋商業高等学校」の皆様、「審査部会特別賞」を受賞された「木曽三川流域自治体連携会議」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

名古屋市立名古屋商業高等学校様におかれましては、水質の浄化や生物多様性の維持に貢献している葦原を保全するためには、その活用が鍵と考え、葦の有効利用による商品開発やビジネススペースに乗せる工夫をされた点が高く評価されたものと思います。

また、木曽三川流域自治体連携会議様におかれましては、流域の水環境を将来にわたって守るためには、上流域の地域経済の自立が不可欠であるという視点から、流域の3県にわたる40市町村が連携して、水源地域の経済的自立を支援する「人・物の交流」事業を実施された点が高く評価されたものと思います。

愛知県では、河川や湖において、多様な生物生息空間や人々の憩いの場となる水辺空間の保全・創出として葦原の復元などに取り組んでいますが、良好な水環境を保つためには、継続的な維持管理や上下流の理解と連携が課題となっています。

今回、受賞された皆様の取り組みは、まさにこの2点の課題を、実現性があり、かつ、継続可能な手法で解決していこうという取り組みであり、皆様の御尽力に心から敬意を表します。

最後に、皆様の今後の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします

平成28年6月21日
愛知県知事 大村 秀章

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第18回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された「なでしこ防災ネット」の皆様、誠におめでとうございます。

このたびの受賞は、災害時の生活用水確保のために井戸や湧水を調査し公表する取組を、中学生・高校生のボランティアや郵便局OBの皆様など幅広い市民ネットワークの協力を得て行うことにより、市内119箇所に「災害時協力井戸の家」の看板を設置するなどの成果を上げたこと、そして、環境教育や防災教育にも効果が見られたことが、高く評価されたものです。日常生活を守る女性の視点で取り組んでこられた皆様ならではの活動であり、栄えある受賞を大変うれしく思います。

皆様が活動されている秦野は、丹沢の山々が育んだ湧水が多く見られ、昭和60年には、秦野盆地湧水群が環境庁により「全国名水百選」に選定されています。また、本年3月に環境省が名水百選30周年を記念して行った「名水百選」選抜総選挙において「おいしさがすばらしい名水部門」で全国第1位に選ばれています。

わが国の水資源は世界に誇れる豊かさであり、その中であって、秦野の名水のおいしさが全国的に評価されたのは、地域の皆様が身近なところで井戸や湧水を大事に守ってこられた賜物であり、さらに、そうした井戸や湧水を活用して、いざという時に備えようという、今回の「なでしこ防災ネット」の皆様の取組は、名水の里にふさわしいものであると思います。

これまで活動を支えてこられた多くの関係者の方々の御尽力に心から敬意を表しますとともに、今回の受賞を励みとしていただき、皆様の活動がますます御発展することを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
神奈川県知事 黒岩 祐治

祝 辞

第18回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました「次世代のためにがんばる会」の皆様、心からお祝い申し上げます。

「次世代のためにがんばる会」の皆様におかれましては、平成13年から幅広い世代の住民の方とともに、牡蠣殻を使った氷川ダム湖の水質浄化、同ダム湖周辺でのホタルの育成、清掃活動を通じた水質検査学習会の開催など、多岐にわたる体験型の水環境保全活動を行い、産学官民の協働で、地元の水環境を守る次世代の人材育成に尽力いただいています。今回の受賞は長年にわたるこうした取組が高く評価されたものと喜ばしく思っています。

本県では本年4月の「平成28年熊本地震」によって、多数の家屋倒壊や大規模な土砂崩れ、道路、河川等の広範囲な施設損壊など、県政始まって以来の大災害が発生しました。それでも、全国からの心温まる物的、人的支援を受けながら、県民一丸となって、一日も早い復旧・復興に向けて「チームくまもと」の力を結集して取り組んでいるところです。

そのような中での皆様の受賞は、まさに一筋の光が差し込むようなものであり、熊本の再生に弾みをつけるものにほかなりません。県民を代表して心から感謝申し上げます。

今回受賞されました皆様が今後ますます御活躍されることを期待しまして、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
熊本県知事 蒲島 郁夫

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

山口県立山口高等学校化学・生物部の皆様、「2016日本ストックホルム青少年水大賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今回の受賞は、3種の生物を用いて水の常時監視と安全性評価を行う独自のシステムの構築に成功したものであるという点や、このシステムの特徴として、動物愛護の観点から、魚などの脊椎動物を使用しないこと、また、3種の生物への致命的な影響ではなく、植物の反応や動物の習性を利用しているといった点が評価されたものと伺っております。

本県では、多自然川づくりを目指して、「水辺の小わざ」と名付けた簡易型魚道の設置に代表される小規模で効果的な水辺の改善事業を行い、河川環境の保全に取り組んでいるところであり、また、本年8月には「第21回水シンポジウム2016inやまぐち」を開催し、治水、水資源の保全、水辺空間の魅力の再発見等について議論を行い、未来への提案を発信することとしています。

こうした中、皆様が受賞されましたことは大変心強く、誠に喜ばしいかぎりです。

今回の受賞を契機として、皆様が今後ますます御活躍されることをお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成28年6月21日
山口県知事 村岡 嗣政

祝 辞

2016日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞された

大阪府立園芸高等学校バイオ研究部の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、近年国内外の内海で大量発生し、海洋汚染など、大きな環境問題を引き起こしている海藻アオサを利用して、バイオエタノールを作ろうとする試みに対し、糖化・発酵という高校生のレベルを大きく超えた研究成果や、先進的な機器を使いこなし基礎的な化学分析を実施したバランスのとれた実験手法が高く評価されたものです。

大阪府においても、大阪湾の環境保全に向けた取組を進めているところですが、

海岸で腐敗することにより生物生息環境の悪化の要因ともなるアオサを、新たなエネルギー源に転換しようとする皆様の着想と日頃のご努力に深く敬意を表すとともに、環境問題に対する関心が将来を担う若い世代に培われていることを大変心強く感じ、誇りに思います。

今回の受賞を契機に、大阪府立園芸高等学校バイオ研究部がさらなる成果を上げられることを期待するとともに、活動を支えてこられた関係者の皆様に心から感謝申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成28年6月21日
大阪府知事 松井 一郎